

秩父ミュージズパーク 自然体験

スポーツ 昆虫 植物
星座 鳥 両生類 菌類

2022

当公園では、動植物などの専門知識を持つボランティアである「公園インストラクター」の方々の協力を得て、各種イベントを実施しています。2022年度はこのリーフレットのイベントを開催します。どうぞ積極的にご参加下さい。

公園インストラクター事業

各種イベントの申し込み・お問い合わせには、秩父ミュージズパーク管理事務所まで
電話：0494-25-1315 FAX：0494-21-1039



はる せいざ かんさつかい
春の星座観察会 4月23日
19:00~21:00 土

集合場所 音楽堂 (予定)
費用 無料
申し込み 当日受付
雨天 中止
見どころ 月 冬の星座 春の星座

ルディックウォーキング 5月28日
初心者講習会 9:30~正午 土

集合場所 パルテノン
申し込み 事前受付 (先着20名)
費用 500円 (ボール貸出含む)
持ち物 補給水・タオルなど
※ボールは貸し出します。
服装 運動のできる服装

しょか さんや ぞうかんさつかい
初夏の山野草観察会 6月4日
9:30~正午 土

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 ルーベ・カメラ等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
※山野草に詳しい先生にお話を聞きながら園内を散策します。

かんしょう ゆう
ホタル観賞の夕べ 7月2日
18:30~20:30 土

集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 懐中電灯
雨天 小雨決行

ホタルの生態を学び、園内の沢辺に自然発生するホタルの群れの飛び様子を観賞します。

こ こんちゆうたん けんたい
子ども昆虫探検隊 7月30日
9:00~正午 土

集合場所 百花園駐車場
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 虫かご・虫取り網
服装 帽子・歩きやすい服装 (林の中も歩きます)

せいざ りったい もけい
星座の立体模型 8月13日
18:00~19:00 土

集合場所 音楽堂 (予定)
費用 無料
※6月15日午前10時申し込み受付開始
定員 30組 (申し込み先着順)
特典 完成品はお持ち帰りできます。

なつ せいざ かんさつかい
夏の星座観察会 8月13日
19:00~21:00 土

集合場所 音楽堂 (予定)
費用 無料
申し込み 当日受付
雨天 スライド上映になります。
月 夏の星 ペルセウス座流星群など

夏のおわりの
生き物観察会 8月27日
9:00~正午 土

集合場所 昆虫の森入口
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 虫かご・虫取り網
服装 帽子・歩きやすい服装 (林の中も歩きます)

ていき せいざ かんさつかい
定期星座観察会 毎月第4
秩父ミュージズパーク後援事業

集合場所 多目的ハウス (雨天実施)
費用・受付 無料・当日受付

春夏 19:00~21:00
5月28日(土) 6月25日(土) 7月23日(土) 7月30日(土)
8月6日(土) 8月20日(土) 8月27日(土)

参加者の皆さまへ
ご協力をお願いします

※新型コロナウイルスの感染拡大に備え、時間厳守・中止となる場合がございます。予めご了承ください。

おの熱等や体調不良はご来場前にお知らせください。

マスクの着用をお願いします。

手洗いや手指消毒をお願いします。

かんさつかい
きのこ観察会 10月1日
9:00~正午 土

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
申し込み 当日受付
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・トンク・カゴなど
最後に品評会を行います。

あき さんや ぞうかんさつかい
秋の山野草観察会 10月9日
9:30~正午 日

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
申し込み 当日受付
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・カメラ・筆記用具等
※山野草に詳しい先生にお話を聞きながら園内を散策します。

ルディックウォーキング 10月30日
初心者講習会 9:30~正午 日

集合場所 パルテノン
費用 500円 (ボール貸出)
申し込み 事前申し込み (先着20名)
持ち物 補給水・タオルなど
※ボールは貸し出します。
服装 運動のできる服装

海を渡るチョウ「アサギマダラ」

アサギマダラは夏を涼しい本州の高原などで過ごし、秋には新しい世代が暖かな南をめざして移動します。鱗粉の少ない浅葱色(空色)の羽で風に乗れ、「フワリ、フワリ」と飛び美しい大型の蝶です。一番長い距離を飛んだ記録は、蔵王高原から沖縄と那国島までの2,246kmだそうです。ミュージズパークには、だいたい旅の途中の10月中旬頃に、白いフジバカマやサケバヒヨドリの花を求めて舞い降り、去っていきます。ぜひ、ミュージズパークの森の中にある秘密の花園において下さい。薬草フジバカマなどの花を見つけながら南下して子孫を残し、また翌年には北の故郷にもどってくるアサギマダラの長い旅も、驚異的移動能力も、謎やロマンに満ちています。(飯塚 明)

げっしょく かんさつかい
月食観察会 11月8日
18:00~21:00 火

集合場所 音楽堂 (予定)
費用 無料
申し込み 当日受付
雨天 中止
服装 暖かい服装
皆既月食

かどまつ つく
ミニ門松を作ってみよう 12月11日
9:30~正午 日

集合場所 音楽堂 (予定)
費用 500円
※11月15日午前10時申し込み受付開始
申し込み 事前受付 (申し込み先着順50人)
雨天 決行
秩父ミュージズパーク産の竹を使用して個性豊かなミニ門松を作成しよう。

2023
バードウォッチング 2月5日
9:00~正午 日

集合場所 百花園駐車場
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 望遠鏡・双眼鏡・カメラ・筆記用具等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
最後に鳥合わせを行います。

かんさつかい 2023
カタクリ観察会 3月26日
10:00~正午 日

集合場所 パルテノン
費用 無料
申し込み 当日受付
持ち物 ルーベ・カメラ等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
ニリンソウ・アズマイチゲ・水芭蕉等も群生しています。

秋冬 18:00~20:00
9月24日(土) 10月22日(土) 11月26日(土) 12月24日(土)
2023年 1月28日(土) 2月25日(土) 3月25日(土)
※4月・8月・11月は、各星座観察会を開催ください

ノルディックウォーキング



クロスカントリースキーをもとにフィンランドで発表されたノルディックウォーキングは、ヨーロッパを中心に多くの人に愛好されています。2本の専用ポールを活用した全身運動で歩くこ



とにより、足腰への負担の軽減を実感しながらも高い運動効果を得られます。季節を問わず簡単にできるので健康の維持・増進、運動不足の解消に役立つスポーツとして注目されています。
(中村繁樹)

きのこの世界



ヤマドリタケ (初夏)

ミュージアムパークはきのこの発生にはかなり良いロケーションです。南東向きの日当たりの良い斜面、マツやモミを含む雑木林、整備された遊歩道、林内も程よく手入れされています。きのこと言えば秋がシーズンですが、梅雨明けから多種多様なきのこが発生します。迷信に惑わされることなく、図鑑と見比べ、正しく判別する練習をしましょう。



マイタケ (秋)

この時期に観察できそうなきのこは、「ウラベニホテイシメジ」「チチタケ」「サクラシメジ」「マイタケ」「ナラタケ」等です。間違えやすい毒きのこを見比べてみましょう。
(田代和照)

小さい生き物たちの世界をみてみよう



サンショウウオの卵

パルテノンから西側斜面を下っていくと、駒沢ホタルの里があります。この周辺ではトウキョウサンショウウオやヤマアカガエルの卵やオタマジャクシが見られます。また越冬した昆虫やカタテハ、テングチョウ、コツバメなどの蝶類、トンボの幼虫(ヤゴ)を観察する事が出来ます。朽木や落葉の下を探し、子供達に大人気カブトムシなどの幼虫を見つけてみましょう。歩きやすいハイキングシューズ等でご参加下さい。(江原 繁)



トンボの幼虫 (ヤゴ)

バードウォッチングははじめませんか

○ 秩父ミュージアムパークで観られる野鳥 ○
秩父では、168種類確認されている内、ミュージアムパークでは75種類確認されています。一年中見られる留鳥、春フィリピンなど南方から繁殖に来る夏鳥、シベリアなどから越冬に来る冬鳥などに別れています。



ミヤマホオジロ (冬鳥)

冬のバードウォッチングは留鳥と冬鳥を見る事が出来、野鳥は早朝の方がよく見られます。冬は木の葉も落ちて見通しがきき、林の中にも鳥もよく見ることが出来ます。たとえば、木の天辺に止まる鳥、カワラヒワ、中程には、シジュウカラ・ヤマカガシ・エナガ・メジロ・コゲラ(冬は小群でいる) 藪は、ウグイス・ホオジロ(留鳥)・ベニマシコ・アオジ・カヤクグリ(冬鳥) 地表では、ハクセキレイ・セグロセキレイ(留鳥)・ツグミ・シロハラ(冬鳥) などが見ることが出来ます。いつ・どこで・何をみたかを付けておく、フィールドノートがあると良いです。ハンディ図鑑があれば早く確認できます。



オオリ (夏鳥)

○ 双眼鏡の選び方 ○
双眼鏡があれば世界が広がります。倍率が大きいとアップで見れると思えますが視野が狭くブレが生じます。★代表的なレンズ口径は次のサイズです。20口径 折りたたむと、手のひらに収まるコンパクト旅行等のシーンで大活躍。30口径 バードウォッチング用の双眼鏡としてもっとも人気があるのがこのサイズ大きさ・重さ・見え味のバランスが良く、初めて双眼鏡を購入する方におすすめ。40口径 他の口径にない明るさや視界の広さを持つがかさばり、重く、使いづらいと感じる方もおられます。おすすめは 8×30、8×32 [倍率×対物レンズの口径(mm)]
(丸山 政弘)

冬を越すチョウ

チョウたちの仲間には、成虫で冬を越すチョウがいます。ここミュージアムパークでもキタキチョウ、ムラサキシジミ、ムラサキツバメ、ウラギンシジミ、テングチョウ、アカタテハ、キタテハ、シータテハ、ヒオドシチョウ、ルリタテハの10種類のチョウが成虫で冬を越しています。その中でも、写真のキタキチョウ、テングチョウは、陽当たりの良い東または、南向き斜面で、テングチョウは枯れ葉の近くで、キタキチョウは冬でも緑の残る草や生垣などの低木の葉裏で冬を越します。時には、写真のように雪の中に埋まってしまう



キタキチョウ

こともありますが、チョウたちは冬になると凍りにくい身体に変化するため、大丈夫なのです。これらのチョウたちが春、目覚めるのは、テングチョウが3月上旬、キタキチョウが3月下旬ころで、目覚めると直ぐに結婚相手を探し、卵を産みます。彼らの春の目覚めのタイミングは卵を産み付ける植物の萌芽に合わせているようです。
(石塚 正彦)



テングチョウ

星空を眺めて宇宙を感じてみませんか

本物を見ましょう

世界最大級の望遠鏡や、人工衛星に載せた大型望遠鏡から正確で美しい映像が送られてくる時代になりました。コンピューターグラフィックスで書かれた惑星の図なども有ります。

今度は秩父ミュージアムパークで、本物の木星や土星、月などを見てみましょう。思ったより木星は小さく、月のクレーターも影の長さが毎回違って行くのがわかってきます。何か新しいことを発見できるかもしれません。直径30cm~15cmの大望遠鏡を用意します。「星空博士」の資格を持ったおじさんたちが、星座や神話を案内します。

○天体観測会○ 毎月実施
毎月第4土曜日、多目的ハウスにて、夏期は午後7時から冬期は午後6時から星座の解説をはじめます。惑星や銀河、星雲、流星など、折々の現象を解説します。

※4月・8月・11月はインストラクタ事業にあわせて、日程場所が変更になります。インストラクタ事業の予定を参照してください。
(内藤 定芳)

ホタル観賞

秩父ミュージアムパークの駒沢ホタルの里に飛んでいるホタルは、雄のホタルが雌のホタルを探し求め隊列を組んで飛んだり、急降下したり、光を放つ時間を合わせながら飛びますので鑑賞して下さい。

ホタルは世界に約2千種位いると言われますが、日本にいるのはクロマダホタルやオバホタルを含めて43種類います。ゲンジホタルやヘイケホタルとクメジマホタルのように幼虫時代を水中で過ごすのは、世界でも珍しい一桁台の種と言われています。

ホタルは昆虫ですので、卵・幼虫・さなぎ・成虫と姿を変えます。この中でも幼虫時代が長く、秩父地域では2年から5年位かけて成虫になります。また、同じ卵から生まれた幼虫でも成虫になるのが、このように差が生じて成虫になるのは、天候や災害・環境の変化などで卵が産めない状況になっても幼虫で生き残ります。

このような生態なので稲作が始まった太古の昔よりホタルの種が保たれたと思います。秩父地域には以前、樹木が無く背丈の少し高い草が生えた所にゲンジ

幼虫(ようちゅう)ポタルがいましたが、ここのホタルは大きく約20mm位ありましたが、開発により飛ばなくなりました。ここ駒沢地区のゲンジポタルは、昔からこの地域に住んでいるホタルをさらに住みやすい環境を整備して皆さんに観賞頂いていますので、環境を壊さずにホタルを捕らないうで鑑賞して下さい。
(坂本文雄)

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言発令等により、時開催中止となる場合がございます。

多彩な山野草の世界

ミュージアムパーク及びその周辺地域では、野生植物だけでも500種類以上の植物が分布しており、植物種の多様性から見て重要なスポットである。中でも、埼玉県、レッドデータブック植物編に記載されている植物では、



ウメガサソウ (初夏)

アカハナウラビ、コヒロハハナヤスリ、サクライカグマ、タニハゴ、オオカナウラビ、アズマスケ、カタクリ、ヒメニラ、ステゴビル、シロバナエンレイソウ、イカリソウ、アズマイチゲ、



ツクシハギ (秋)

ネコノメソウ、マキノスミレ、アキノギンリョウソウ、キクタンギク、ウメガサソウ、アケボノスミレ、オオヤマツツジ、オオヒキヨモギ、アサマヒゴタイなどが見られる。○ ワンポイントアドバイス ○
シダ類植物の場合は胞子のう群の形や付く位置、鱗粉の色や形・花弁の先が筒状になっているかなど、また、茎、花柄などの毛の有無や伏毛が又は開出毛なども区別点として重要。
(岩田 豊太郎)

動物たちの世界をのぞいてみよう

秩父ミュージアムパークには四季を通していろいろな動物が暮らしています。夏は子どもたちの大好きなカブトムシやクワガタが見られます。夏、ミュージアムパークの大きなクヌギには



オオムラサキやカナブン、ちょっとこわいスズメバチなどが樹液を吸おうと集まっています。夜にはお待ちかねのカブトムシやクワガタが登場します。昼間のチョウに代わって大きなガも樹液に集まります。樹液の出る木を見つけ、昆虫の変化を観察するのも楽しい夏の思い出になるでしょう。

昆虫ばかりでなく、ミュージアムパークにはタヌキやシカ、イノシシも姿を現します。昼間見るのは難しいですが、住んでいる証拠は見つかります。それは糞です。「昆虫の森」ではそんなけものたちの通り道や糞、縄張りを示す枝折りなどからその生活ぶりを知ることができます。あなたも土の掘りあとや糞を見つけながら、探偵になってけものを追跡する一日を過ごしてみませんか。
(町田 和彦)

